

日本鉄鋼協会役員

さる4月5日開催の第52回通常総会において、理事、監事および評議員の選挙が行なわれました結果、本年度の
本会役員は次の通り選任されました。(敬称略)

会 長	佐野 幸吉							
副会長	武田 喜三	橋口 隆吉						
専務理事	田畑新太郎							
理 事	足立 彰	阿部 秀夫	今富 政平	内川 悟	小野 健二 (日立金属)	菅野 五郎	河西 健一	
	河田 和美	木下 亨	近藤 八三	三本木貢治	長谷川正義	安田 洋一	田中 実	
	田村純治郎	手島 雄二	中司 正夫	中野 宏	八木貞之助		久田 清明	
	不破 祐	三井 太佳	森田 志郎				吉井 周雄	
	吉崎 鴻造	吉田 浩						
監 事	俵 信次	芝崎 邦夫						
評 議員	間 瑞夫	東 道生	赤坂 武	浅野 檜一郎	葦沢 大義	網谷 俊平		
	荒木 透	荒牧 寅雄	入 一二	井上 敏郎	井上 道雄	井関 剛		
	井村 竹市	井戸崎好次	伊木 常世	伊藤 伍郎	伊藤 正夫	飯島 繁		
	池上 卓穂	池上 平治	池島 俊雄	池田 正	石井健一郎	石田 稔		
	石田 求	石田 四郎	石原 幸男	石原 善雄	石原 正美	猪崎久太郎		
	稲田 辰男	稲山 嘉寛	茨木 正雄	今井 光雄	今里 広記	今井勇之進		
	岩井 英夫	岩武 照彦	磐城 恒隆	植山 義久	越後 正一	小田 仲彬		
	小田原大造	小野 健二 (東北大学)	小野田武夫	大矢根大器治	大柿 諒	大谷米太郎		
	大津孝太郎	大中都四郎	大野 功	大浜 侃	大原 久之	大元 博		
	大森 基一	大久保 謙	太田 鶏一	岡田 儀一	岡村 武	奥村 虎雄		
	奥村 福次	桂 寛一郎	香川 進	香川 英史	香春三樹次	嘉村 平八		
	海江田弘也	河合 正雄	河合 良一	河上 益夫	河野 文彦	川田多佐雄		
	川又 克二	川村 宏矣	金子 信男	金森 九郎	金森 洋一	鍵和田暢男		
	木下 正	木寺 淳	木村 泰之	菊池 浩介	北川 一栄	北原 光雄		
	喜代永政雄	久米 定男	草川 隆次	栗山 俊治	黒瀬 甫	黒田 康彦		
	小出 秋彦	小林佐三郎	小林清一郎	小犬丸胤男	五弓 勇雄	後藤 俊信		
	幸田 成康	駒井健一郎	近藤 良夫	小々川 清	佐藤 忠雄	佐藤 知雄		
	斎藤 正年	斎藤 弥平	西郷 吉郎	堺 千代次	酒井 佐敏	作井 誠太		
	雀部 高雄	志村清次郎	鹿喰 清一	島村 哲夫	清水 正博	下山田正俊		
	莊 清彦	菅野 猛	杉 正道	杉沢 英男	梶山 正孝	住友 元夫		
	関 文男	芦沢 正雄	園田 一夫	田口 連三	田地川健一	田所 怜		
	田中 国雄	田中 良平	多賀谷正義	平 修二	高尾善一郎	高石 誠二		
	高瀬 孝夫	高橋麟太郎	高畑 幸男	滝沢 工	武田 修三	竹原 康夫		
	谷川 正夫	谷口 光平	谷村 濶	俵 隆治	茶谷 順次	辻畑 敬治		
	土屋 勤	筒井統一郎	津田 久	出淵 国保	外島 健吉	富山英太郎		
	豊田 茂	名尻耶 馨	中川不器男	中島 省一	中島 正樹	中島 道文		
	中野 邦弘	中村 隆一	中山 育雄	丹羽貴知蔵	西 博	西川 政一		
	西野 武彦	西村吉太郎	野田 郁也	林 敏	林 達夫	萩原 巖		
	橋浦 彦三	橋本 芳雄	橋本 宇一	蜂谷 茂雄	浜田 正信	早川 種三		
	原田 恵伍	原田 静夫	平世 将一	平田 竜馬	檜山 広	日向 方斉		
	深堀 佐市	藤川 一秋	藤木 俊三	藤田 茂	藤本 一郎	堀口 定雄		
	堀田 秀次	堀田 之孝	本田宗一郎	前岡 実	前田 元三	増本 量		
	町田 業太	松浦 隆行	松下 幸雄	松田 公扶	松永陽之助	松原与三松		
	松本兼二郎	松本 茂樹	松本 豊	的場 幸雄	嶺 次男	三浦 懋		
	三島 良績	三谷 裕康	三ヶ島秀雄	美馬源次郎	宮下格之助	宮代 彰		
	宮原 正	村尾時之助	村上 英二	村田 巖	室井嘉治馬	森 暁		
	森 一美	森永 孝三	森棟 隆弘	森崎 晟	盛 利貞	望月 要		
	柳 武	矢島悦次郎	矢野 巖	矢野 雅雄	安田 汪	安原 武彦		
	山内 二郎	山口 利彦	山下 伸六	山田良之助	山野上重喜	山本 信公		
	山本真之助	山本 博	養田 実	横田 正成	横山金三郎	米田 健三		
	和田 亀吉							

日本鉄鋼協会行事案内

開催月日	行事(カッコ内は開催地)	申込締切	会 告
5月 29(月), 30(火)	第9回技術講座(東京) 「鋼の熱間加工の基礎」	申込不要	N56
6月 30(金)	第74回講演大会講演申込み	申 込 要	N53
8月 10(木)	第74回講演大会原稿締切日		N53
10月 1(日), 2(月), 3(火) 4(水), 5(木)	第74回講演大会(札幌) 〃 見学会	申 込 要	

第9回技術講座開催のお知らせ

— 5月29日・30日 —

本会では会員各位をはじめ関係各位のご要望により、鉄鋼の製造、研究に従事する人々が常識として把握しなくてはならないテーマをとりあげ、それぞれの権威者から最近の動向、発展の方向についてお話し願ひ、討論を行なうために技術講座を開催してまいりました。

第9回技術講座は「鋼の熱間加工の基礎」をテーマにとりあげ、下記演題をもとに講師にご講演をお願いすることになりました。多数会員ご参加下さるようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和 42 年 5 月 29 日(月), 30日(火) 9:30~17:00
2. 場 所 大和証券ホール 東京都中央区八重洲1-2-4
(国鉄東京駅八重洲北口下車徒歩5分) 呉服橋交差点角
(地下鉄=日本橋, 都電=呉服橋下車)
3. プログラム 一鋼の熱間加工の基礎一
 - 第1日 (5月29日 9:30~17:00)

9:30	鋼の熱間加工総論	東京大学教授	五 弓 勇 雄君
13:00	材料の流れと圧力分布	東京大学教授	五 弓 勇 雄君
		〃 工学部	斎 藤 好 弘君
 - 第2日 (5月30日 9:30~17:00)

9:30	変形抵抗について	住友金属工業(株)中央技術研究所	岡 本 豊 彦君
13:00	変形能について	(株)日本製鋼所室蘭製作所研究所	小野寺 真 作君

特別講演会のお知らせ

— 5月29日 15:30~16:30 —

本会では、上記ご案内の第9回技術講座に際し、今年2月末~3月初にかけて、豪州で開催された英国鉄鋼協会主催豪州地区会議に出席された、大竹正氏に、下記のごとくご講演をお願いすることになりました。激化する国際競争に対処し、豪州鉄鋼業の近況を知ることは会員各位にも裨益するところ大であると信じ、多数ご来聴下さいますようご案内いたします。

記

- 1 日 時 昭和 42 年 5 月 29 日(月) 15:30~16:30
- 2 会 場 大和証券ホール
(技術講座に引き続いて行ないます)
- 3 講演題目 豪州鉄鋼業の近況
—英国鉄鋼協会主催豪州地区会議に参加して—
- 4 講演者 八幡製鉄株式会社
八幡製造所副製造所長 大 竹 正君

“鉄鋼規格便覧”刊行について

本会は、鉄鋼メーカーのみならず広くユーザーの要望により、主要各国の国家規格ならびに団体規格の抄訳を進めてまいりましたが、5月下旬“鉄鋼規格便覧”(鉄鋼技術講座 第6巻地人書館刊)として発行される予定であります。

本書は、主要規格の鋼材の化学成分、機械的性質、試験検査、形状、寸法、重量等を表を中心にまとめてあります。購読を希望の方は下記をご覧のうえお申し込み下さい。

記

1. 書名 鉄鋼規格便覧

2. 内容

第1章 鉄鋼材料の分類

銑鉄およびフェロアロイの分類、鋼の分類
鋼材の分類

第2章 外国規格の概要

アメリカ (ASTM 他 12 規格) イギリス (BS), ドイツ (DIN, VDEh) ソ連 (ГОСТ), その他欧州 (8 規格), インド (IS, IRSS), 中南米およびカナダ (9 規格), ISO

第3章 日本工業規格

概説, 銑鉄およびフェロアロイ, 棒鋼および形鋼, 鋼板および鋼帯, 表面処理鋼板, 鋼管, 線材および二次成品, 構造用合金鋼

3. 定 価 6500円 (送料 150円)

ただし昭和42年 6 月30日までに申し込みのものに限り

個人会員特価 4800円 (1人1冊限り) } (送料 150円)

法人会員特価 5800円

4. 申込方法

書名および送付先を明記のうえ、現金書留または振替にて直接下記にお申し込み下さい。

5. 申 込 先

東京都新宿区牛込中町15

私書函東京牛込局 56 号, 地 人 書 館

振替東京 1532 番・Tel. (260) 7161~3

鋼材および機械構造用炭素鋼鋼材, ステンレス鋼および耐熱鋼, 工具鋼, 特殊用途鋼
鑄鍛鋼

第4章 国内団体規格

日本溶接規格, 日本高圧力技術研究会規格・基準, 日本海事協会鋼船規則, 石油学会規格, 日本電機工業会規格, 自動車工業会協定規格, 日本国有鉄道規格, 防衛庁規格

第5章 外国規格

ISO, ASTM, SAE, AISI, ASME, AMS, API, BS, DIN, VDEh, ГОСТ, 船級協会規格

“世界鉄鉱資源要覧”(限定版)頒布のお知らせ

科学技術庁資源調査会鉄鋼部会編さん 本会発行

わが国鉄鋼業が多大の成長をとげている現在、その将来の発展の鍵は優秀な資源の供給源を得ることにあります。科学技術庁資源調査会鉄鋼部会がわが国で始めてこの問題に取り組み「世界鉄鉱資源要覧」をまとめ、本会で刊行いたしましたはこびとなりました。

本書こそは鉄鋼界待望の書であり、具体的内容を豊富に網羅している点で世界的にも類まれな画期的資料であります。

下記内容をご参照の上、本書を研究・調査に広くご活用下さるようご案内申し上げます。

主要目次

1. 鉄鉱資源一覧表
2. 国連方式による鉄鉱床分類法の説明
3. 鉱石輸送距離表と港湾概況表
4. 鉄鉱資源分布図

大き さ B4変形判 (24.5cm×29cm)
頁 数 140 頁
地 図 16 葉
装 幀 本クロス上製本
定 価 6000円(会員) 8000円(非会員)
〒 本会負担

○申込方法

現金書留にて①送金目的②注文冊数③送金額④氏名⑤送付先住所 を明記してお申し込み下さい。代金受領後送本致します。

なお送付途中破損のおそれがありますので、東京都内および近郊の方はできるかぎり本会までお越し下さい。

○申 込 先

東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 F
(社) 日 本 鉄 鋼 協 会 編 集 課

訪独ベネルックス使節団報告書

“ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況”刊行について

本会が西ドイツ、ベネルックスに派遣いたしました、鉄鋼使節団は帰国後数回にわたり会合し、報告書のとりまとめ作業を進めてまいりましたが、2月下旬に発行されました。

本報告書は技術を中心に、鉄鋼業の再編成問題にもふれ、転換を迫られている欧州鉄鋼業の最近の動向を解明しております。購読を希望される方は、下記をご覧のうえお申し込み下さい。

記

- | | | |
|---------|--|-------------------|
| 1. 書名 | ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況 | |
| 2. 内容 | 第1篇 | ベネルックスおよび西独鉄鋼業の概況 |
| | 第1章 | エネルギー |
| | 第2章 | 原料 |
| | 第3章 | 輸送 |
| | 第4章 | 製鉄 |
| | 第5章 | 製鋼 |
| | 第6章 | 鋼板 |
| | 第7章 | 条鋼 |
| | 第8章 | 鋼管 |
| | 第9章 | 鍛造鋼 |
| | 第10章 | 特殊鋼 |
| | 第11章 | 研究 |
| | 第12章 | 自動制御 |
| | 第13章 | 規格 |
| | 第14章 | 教育 |
| | 第15章 | 労働安全 |
| | 第16章 | 再編成 |
| | 第2篇 | 訪問記 |
| | 第1章 | 諸研究機関・研究所 |
| | 第2章 | 諸工場 |
| | 第3篇 | 座談会 |
| 3. 価格 | 会員 1500 円, 非会員 2000 円 (送料本会負担) | |
| 4. 申込方法 | 書名および送付先を明記のうえ、代金を添え現金書留にて申し込み下さい。 | |
| 5. 申込先 | 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 F
日本鉄鋼協会 編集課 | |

「鉄鋼材料便覧」刊行のお知らせ

本会ではかねてから日本金属学会との共同編集により「鉄鋼材料便覧」の編集をつづけてまいりましたが、ようやくこの6月下旬に丸善株式会社より刊行の運びとなりました。本書は、鉄鋼材料の使用者ばかりでなく、鉄鋼メーカーの技術者の方々にも極めて役に立つ内容になっています。会員諸子の購読をぜひおすすめいたします。

記

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 書名 | 鉄鋼材料便覧 |
| 2. 編集 | 日本鉄鋼協会, 日本金属学会 |
| 3. 規模 | A 5判 1630 ページ |
| 4. 内容 | (下記参照) |
| 5. 定価および購入方法 | |

定価は現在の所 6,000 円の予定ですが、本会としては、会員の購入について特典の便宜をはかりたいと思ひ出版社と交渉中です。詳細については次号の会告でお知らせする予定です。

内 容

第1編 総論

- | | | | |
|----------------|-------------------|-------------------|------------------------|
| 1. 鉄鋼材料の基礎 | 2. 温度による諸性質の変化 | 3. 熱処理による性質の変化 | 4. 表面処理による性質の変化 |
| 5. 腐食および防食 | 6. 表面処理 | 7. 溶接および溶接部の性質 | 8. 塑性加工および塑性加工による性質の変化 |
| 9. 粉末冶金と焼結材の性質 | 10. 機械的性質とその物理的意義 | 11. 材料の表面および内部の欠陥 | |

第2編 鉄鋼材料

- | | | | |
|----------------------|-----------------|----------------|------------|
| 12. リムド鋼とキルド鋼 | 13. 構造用炭素鋼 | 14. 構造用低合金高張力鋼 | 15. 構造用合金鋼 |
| 16. ステンレス鋼およびステンレス合金 | 17. 耐熱鋼および超耐熱合金 | 18. 軸受鋼 | 19. ばね鋼 |
| 20. 工具鋼 | 21. 電磁気材料 | 22. 鋳鉄 | 23. 鋳鋼 |
| 24. 粉末冶金製品 | | | |

第3編 鉄鋼材料の用途別選択と加工処理法

- | | | | |
|-------------|---------------|------------------|---------------|
| 25. 一般構造用材料 | 26. 構造物用主要材料 | 27. 一般機械要素材料 | 28. 機械主要部品用材料 |
| 29. 治工具材料 | 30. 電磁機器部品用材料 | 31. 化学装置および部品用材料 | 32. 原子炉構造用材料 |
| 33. 航空機用材料 | 24. 航空機用材料 | | |

九州支部第17回合同講演会

主催 日本鉄鋼協会九州支部, 日本金属学会九州支部
 日時 昭和42年6月7日(水) 9:00~14:30
 会場 住友金属工業(株)小倉製鉄所 北九州市小倉区許斐町1丁目
 演題および講師
 マルエージング型ステンレス鋼に関する研究 九大工 徳永洋一君
 リムド鋼塊について 八幡技研 梶岡博幸君
 最近の小倉製鉄所の高炉操業について 住金小倉 綿井義雄君
 ほか講師 3名
 工場見学 住友金属工業(株)小倉製鉄所 時間 14:30~16:00
 会費 講演および工場見学会費不要

東海支部講演会講演募集

主催 日本鉄鋼協会東海支部, 日本金属学会東海支部
 期日 昭和42年6月4日(日)
 申込締切 昭和42年5月13日(土) …講演題目, 講演者, 所要時間, スライドの要否, 連絡先記入のうえ
 会場 名古屋大学工学部2号館(予定)
 申込先 名古屋大学工学部金属鉄鋼工学教室 日本鉄鋼協会東海支部
 (名古屋市千種区不老町 Tel. 名古屋(781) 5111 内 3372)

8 学会互報欄

本会会員は, すべて主催団体会員に準じた取扱いで参加できます. 詳細は主催団体へお問い合わせください.
 なお, 参加またはお問い合わせの際は本会会員の旨を附記して下さい.

行事名	開催日	会場	会費	主催団体	申込締切
化学装置の設計施工に関する講習会	42. 5. 23(火) 24(水) 9~16:00時	私学会館ホール	会員 2,500円	港区赤坂4丁目1番24号 日本規格協会ビル 日本機械学会 Tel (582) 6911	聴講 5月10日
流体工学流体機械に関する講演会	42. 5. 25(木) 26(金) 9~	長崎大学工学部	参加自由		講演論文集 5月1日
機械技術者のための新しい計測に関する講習会	42. 5. 25(木) 26(金) 9:30~16:30	全電通労働会館	会員 2,500円	〃	聴講 5月10日
超臨界圧プラントに関する講習会	42. 5. 25(木) 26(金) 9~16:20	銀座ガスホール	〃 2,000円	〃	〃 5月10日
工作機械に関する電気技術講習会	42. 5. 30(火) 31(水) 9:30~16:30	発明会館地下ホール	〃 2,500円	〃	〃 5月15日
最近の送風機圧縮機の動向とその問題点に関する講習会	42. 6. 8(木) 9(金) 9~16:00	全電通労働会館	〃 2,500円	〃	〃 5月30日
伝熱工学の基礎に関する講習会	42. 6. 23(金) 24(土) 9:30~16:50	全通会館9階ホール	〃 2,500円	〃	〃 6月10日
開発途上の交通機械に関する講習会	42. 6. 26(月) 27(火) 9:30~16:30	日本化学会講堂	〃 2,500円	〃	〃 6月16日

学協会記事

第6回X線材料強度に関するシンポジウム

—講演申込締切 5月25日(木)・開催 7月11日(火)・12日(水)—

主催 日本材料学会
 協賛 日本鉄鋼協会ほか6学協会
 開催日 昭和42年7月11日(火)・12日(水)
 場所 東京工業大学(予定)
 講演申込締切 昭和42年5月25日(木)
 前刷原稿 講演採択者には本会より送付する指定原稿用紙に記載のこと。
 前刷原稿 6月10日(土)
 提出締切
 申込方法 随意用紙に演題, 講演者氏名(連名の場合は発表者に○印)所属, 連絡先, スライドの有無, 講演概要(100字程度)を明記する。
 申込先 京都市左京区吉田泉殿町1の101
 日本材料学会シンポジウム係 (Tel 76-5321)

金属の物理的性質講習会

主催 日本物理学会 協賛 日本鉄鋼協会ほか13学協会
 期日 昭和42年7月18日~21日
 会場 科学技術館ホール(東京都千代田区代官町2)
 聴講料 一般8000円, 会員6000円, 学生4500円(テキスト代含む)
 (本会会員は主催学会員と同じ聴講料)
 申込先 (社)日本物理学会
 東京都港区芝公園第21号地 機械振興会館211号室
 Tel. 東京(434)2671

第8回日本アイソトープ会議論文募集について

共催 日本原子力産業会議, 日本放射性同位元素協会, 日本原子力学会
 期日 昭和42年11月13日~16日
 場所 日本都市センター(東京)
 論文申込締切日 昭和42年5月20日
 論文提出締切日 昭和42年6月20日
 申込先 東京都港区新橋1-1-13 日本原子力産業会議 放射線開発課
 Tel. 東京(591)6121~4